

国が2億9千8百万円の予算措置

北友田地区 災害対策で

緊急的に堤防整備と河床掘削

国土交通省九州地方整備局は10月13日、日田市内北友田3丁目の浸水被害の対策として、緊急的に堤防整備と河床掘削を実施するため予算措置したことを発表しました。大谷、日隈両日田市議は、堤、猿渡両大分県議団、田村衆議員、真島前衆議員、仁比前参議員などと8月24日に河川の災害対策を要望していましたが一部前進しました。

整備局への要望は、大きな被害となった天ヶ瀬温泉街の復旧対策や三隈川の河床掘削、石井工業団地に堤防と排水ポンプ、北友田地区の浸水被害

対策を国に求めたものです。今回13日発表の予算内容は、主に北友田地区の市営住宅の

前の現在土嚢を積んであるところに200mの堤防整備。大型店の二串川付近は大分県土木事務所が対応します。三隈川、花月川、二串川の合流付近から北友田地区の河床掘削は3万2千トンを予定しています。また具体的な設計や工事内容、期間は決まっておらず発表されていません。



写真を示しながら河川の浸水対策を求める大谷市議と日隈市議

またこの事業とは別の事業で日田森林組合付近の三隈川の樹木や土砂、星隈公園対岸の花月川の堤防整備について

も取組んでいくようになっていきます。

夜明ダムの水門の開閉状況と北友田の浸水被害との関係について国の説明では、7月の災害時にはダムの水門は全開していたと述べました。今、筑後川河川事務所は河川断面などの調査を始めています。大分県管理の国道386号の

北友田入江地区から夜明地区までの道路の冠水について、県に道路の嵩上げを要望したところ、県からは「河川の堤防道路であり国が対応することになっている」と答えました。



北友田市営住宅前の積み上げられた土嚢

小中学校の給食費公会計化 来々4月から口座振込みに

保護者や教師などの負担軽減に効果

日田市学校給食課は、小中学生の学校給食費について、来々4月から口座振込みにする取り組みの状況について、議会教育福祉委員会に経過報告をしました。

現在、学校給食費について、は、5つの学校給食運営協議会ごとに給食費の徴収管理を行ない、集まった給食費の中から食材費の支出を行っています。日田や天瀬地区では児童生徒の保護者等（地区委員）が集め金融機関から協議会口座に振り込んでいます。現状の問題点としては、保護者が集金している地

区では多額の給食費を取り扱うことで負担が大きいこと。未納者に教職員が督促業務を行うことが教師に大きな負担となっていることなどです。そこで給食費を令和3年4月分から市の歳入歳出予算（公会計）として管理するようにします。

スケジュールとしては、10月に学校関係者に説明。11月から保護者あて文書を送付する。12月議会でも条例制定。また随時口座登録を進める。2月ごろから新1年生保護者あて文書を送付していく予定です。

大谷市議は2018年6月議会でも給食費の無償化とあわせて公会計化を求め質問しました。教育次長は「公会計化は検討する」と述べ、19年6月議会では「令和3年度実施を目指す」と述べていました。